

式 辞

本日、入学式を迎えられました学部新入生の皆さん、入学おめでとうございます。長崎総合科学大学の教職員一同、心から歓迎いたします。

また、今日まで皆さん方を物心両面から支え、励まし、見守り続けてこられた保護者の皆様、ご家族の皆様、学校関係者の皆様のお喜びはいかばかりかと思えます。心からお祝い申し上げます。

続いて、大学院へ進学された皆さん、入学おめでとうございます。今や日本の産業の中心は皆さんたち大学院生です。勉学に励み、そして一緒に研究を愉しましましょう。

別科日本語研修課程の留学生の皆さん Greetings new students of Japanese Language Course. Congratulations and welcome to Nagasaki Institute of Applied Science. I wish you all the best in this new chapter of your life.

さて、本学は、附属高校から別科日本語研修課程、学部、大学院修士課程と博士課程を備えた八十年の歴史を誇る理工系の大学です。

長崎総合科学大学の歴史を振り返ってみますと、起源は、一九四三年（昭和十八年）の、川南（かわなみ）高等造船学校の開校までさかのぼります。

その後、一九六五年（昭和四十年）に県内では初めての私立大学長崎造船大学となりました。さらに、一九七八年（昭和五十三年）に先端技術の多様化にあわせて長崎総合科学大学と改称し、現在は、工学部と総合情報学部の二学部二学科八コース、大学院工学研究科、並びに別科日本語研修課程を設置する大学へと発展しました。

附属高校から入学された方は大学院修士課程まで進学するとしたら九年間、博士課程まで行くとしたら十二年間に渡って勉学に励める環境を整えています。また、別科日本語研修課程も備え、鎖国制度の江戸時代にも唯一の世界に向けて開かれた街であった長崎の地にある大学らしく、今も海外に向けて大きく扉を開いています。

本学には、教育の根幹をなす「建学の精神」と「大学の理念」が掲げられています。「建学の精神」は、「自律自彊（じりつじきょう）」、「実学実践（じつがく じっせん）」、「創意創新（そうい そうしん）」、「宇内和親（うだい わしん）」の四つの四字成語にまとめられています。「自律自彊」とは、自ら努力し、励んで、自分自身を高め、自己を確立すること、「実学実践」とは、地に足をつけ、社会の役に立つ技術を開発・実行できる実践的な人材、「創意創新」とは、常に先進的で独創的な技術を開発して、社会の発展に寄与する新しいものを作り出す開発力を有する人材、「宇内和親」とは、常に物事を世界的視野で考え、人類の和平を技術への愛を通して育む人材になることです。

「大学の理念」は、「人類愛の存するところ、技術への愛もまた存する」と掲げられています。これは、古代ギリシャの先哲ヒポクラテスの言葉です。

このような建学の精神と理念に基づいて作られたカルキュラムを通した日々の学びの中で、これらの精神と理念を皆さん一人一人が思い起こすことで、次のステップに向けての「知力」という素晴らしい力が入ると思います。

本学は、学生一人ひとりの個性や適性に対応した教育を実践し、各々の学びをきめ細かにサポートしていきます。少人数教育による「モノづくり人材」の育成の徹底の上に、先端科学技術に関する教育・研究の推進を目指しています。勿論、豊かな人生を形成するためにキャンパスライフを謳歌することも大事であり、サークル活動などもしっかりサポートしています。

本学へ入学される皆さんがそれぞれの「夢」を叶えられるように「知力」という大きな力を得られることを願っています。

ところで、現在、日本はグリーンエネルギーへの大転換、半導体産業の再興、世界に後れを取ったデジタル化とDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、さらにはガソリン車からEVへのシフトといった多くの課題に直面しています。これらの課題は九州、長崎にも大きな影響を及ぼしており、それに向けての早急な解決が望まれています。

長崎総合科学大学は、先ほども振り返ったように、今から八十年前、当時の長崎の主要産業であった造船業の人材育成を担うた

めに設立されました。その生い立ちからも本学は長崎の地から先頭に立って、長崎、九州といった身近な地域、さらには日本、世界に向かってこれらを解決する技術を研究開発し、多くの人材を教育して送り出すという責務があると考えています。

そのためには、それらの課題に向かって果敢に挑戦する教授陣から学び、共に研究をする学生の存在が大事です。長崎総合科学大学は、海洋エネルギーやバイオマス資源の活用、太陽電池などの再生可能エネルギーのシステム技術、先端半導体技術、AIを始めとした知能情報技術、船舶や自動車、衛星のEV化技術といった研究開発などで先導的な役割を果たしています。

また、本学の学部とコースの構成を見て分かるように、船舶、機械、建築各工学といった伝統的なコースから電気電子工学、マネジメント工学、知能情報といった新しい技術分野、さらには最新の生命環境工学、医療工学まで工学系を網羅しています。大学院の修士課程は、生産技術学、環境計画学および電子情報学の3専攻に集約され、博士課程の総合システム工学専攻へと発展し、先端産業を引っ張っている高度な技術者を多く輩出しています。研究者として、本学を始めとする大学の教授として活躍されている方も多くおられます。長崎総合科学大学は学部から大学院の修士課程、博士課程までを備え、日本の科学・産業をリードする分野を網羅し、勉学と研究により工学という学問を一貫して学べる最高学府です。

この環境の下、皆さんには限りない将来が開かれています。自主的に、勉学、研究、課外活動、ボランティア活動と活発に行動してください。

コロナもかなり落ち着いてきましたので、様子を見ながら海外にも出向き、見聞を広めてください。大学院へ行けば、国際会議にも出席でき、世界中から集まった研究者や学生の中に身を置く自分を発見できます。そして日本、長崎の良さを知ることにもなるでしょう。

世界中の誰も知らない知見を得たり、新たな発見をしたり、皆が驚くものを研究室で作ったりするごく近い将来の自分を想像してみてください。

そういう力が最高学府の大学にはあります。

そういう知力を是非自分で掴んでください。

「技術の世界」では、この知力を基にした実力が大事です。先日のWBCの大谷翔平選手のように、日頃の弛まぬ努力の結果、敵味方無くりスペクトされる実力が手に入ります。しかし、それだけで大谷選手がリスペクトされているわけではありません。誰とでも分け隔て無くコミュニケーションを取ったり、ゴミを拾ったり、時には闘志むき出しで皆を鼓舞し、そして時には野球少年のままの彼の人間味に人は好意を抱き、尊敬の念を抱くのです。皆さんもそういった知力という実力と社会・対人関係力、自己制御力を併せ持った「人間力」を、是非、この大学で磨き上げてください。

最後に、皆さんの前途を祝福し、有意義で充実した楽しい大学生活を送られ、素晴らしい人間力を得られんことを祈念して、式辞といたします。

令和五年四月三日

長崎総合科学大学

学長 黒川 不二雄